

科目名	日本語と英語で学ぶ簿記会計の原理				担当者	ナガノ アツシ 永野 篤						
区分	選択	2	単位	授業回数	8	回	授業 形態	講義	学年	2年	開講期	後期集中
				授業時間数	15	時間						
教員との連絡方法 質問等の受付方法		オフィスアワーは初回の授業時に連絡する。										
専門的 学習成果	①	企業活動における簿記・会計の意義について述べることができる。										
	②	財務諸表のメカニズムについて日本語と英語の概念を通じて複合的に理解し説明できる。										
	③	現代社会において国際社会に求められる会計知識について英語を通じての最低限の知見を得ることができる。										
汎用的 学習成果	(1)	日本語と英語を通じて簿記・会計を学ぶことにより、国際的・社会的・職業的自立に必要な知識と技能を習得し活用できる。(専門的学習成果①②③)										
	(2)	日本語と英語を通じて簿記・会計を学ぶことにより、国際的な文化の違い、現象理解の相違を知り、国際人・職業人としての実践につなげることができる。(専門的学習成果③)										
授業概要	近代において、簿記・会計は西洋社会から輸入された仕組み、概念である。そのため、用語の日本語訳を通じてそのメカニズムを日本語ネイティブが直観的理解をすることには困難が生じている。本授業は、こうした課題を克服するために日本人にも比較的馴染みやすい英単語・概念を用いて、簿記・会計のしくみについて深い理解を行うことを目指している。簿記上の取引における簡単な仕分けから、貸借対照表、損益計算書、そして国際基準に基づいて作成された実際の財務諸表を検討することで、今日的な企業会計の実相についての学びを深める。											
評価方法 基準等	学習成果	種別	割合 (%)	評価方法・基準								
	専門的 学習成果	定期試験										
		小テスト	90	6回実施し、各回15%を配点とする。1～2回分の講義内容の理解の程度を評価する。								
		平常点	10	授業内容へのフィードバック、疑問点の解決、貢献・意欲を評価する。								
汎用的 学習成果	(1) は専門的学習成果①～③で評価を行う。 (2) は専門的学習成果③で評価を行う。											
テキスト 等	著者・編集者名		書名							出版社名		
	大津広一、我妻ゆみ		『会計プロフェッショナルの英単語100 世界の一流企業はこう語る』							ダイヤモンド社		
参考書 参考文献	著者・編集者名		書名							出版社名		
①準備学習等履修上の留意点 ②課題に対するフィードバックの方法等		①簿記検定Ⅰまたは簿記会計学の受講および授業内容への適切な理解があること、或いは日商簿記3級合格レベル知見を持っていることを前提に授業は行われる。(予習：週1時間程度) 事後学習としては、テキスト並びに指定された範囲の演習問題を解くこと。(復習：週3時間程度) 電卓は必ず持参すること。 ②提出されたレポートは全体的な講評を行い、添削して返却する。										

授業計画			学習成果の評価
1回	授業内容	英語で会計を学ぶ意義を知る	疑問点の解決、論点についての確認を行う
	学習成果	借方、貸方、会計の5つの要素について英語で理解し説明できる	
	予習復習の内容	クラスルーム等を通じて予め指示されたテキストに範囲の予習を行い、復習によって内容の理解を深め用語を記憶させる	
2回	授業内容	貸借対照表（バランスシート）の借方の会計英単語を学ぶ	
	学習成果	流動資産および固定資産にかかる用語について理解を深める	
	予習復習の内容	クラスルーム等を通じて予め指示されたテキストに範囲の予習を行い、復習によって内容の理解を深め用語を記憶させる	
3回	授業内容	貸借対照表（バランスシート）の貸方の会計英単語を学ぶ	
	学習成果	流動負債、固定負債、純資産にかかる用語について理解を深める	
	予習復習の内容	クラスルーム等を通じて予め指示されたテキストに範囲の予習を行い、復習によって内容の理解を深め用語を記憶させる	
4回	授業内容	損益計算書（プロフィット&ロス・ステイトメント）の会計英単語を学ぶ（1）	小テスト（1）貸借対照表の用語について確認する
	学習成果	売上、費用、利益にかかる基本的用語について理解を深める	
	予習復習の内容	クラスルーム等を通じて予め指示されたテキストに範囲の予習を行い、復習によって内容の理解を深め用語を記憶させる	
5回	授業内容	損益計算書（プロフィット&ロス・ステイトメント）の会計英単語を学ぶ（2）	小テスト（2）損益計算書の用語について確認する
	学習成果	持分法による投資利益・損失、構造改革費用、減損損失な発展的内容について理解を深める	
	予習復習の内容	クラスルーム等を通じて予め指示されたテキストに範囲の予習を行い、復習によって内容の理解を深め用語を記憶させる	
6回	授業内容	紛らわしいことばを整理する	小テスト（3）紛らわしいことばについて再確認する
	学習成果	Sales, Revenue, Profit, Profit, Income, Margin, Earnings, Return, Cost, Expense, Expenditure, Assets, Equity について整理する	
	予習復習の内容	クラスルーム等を通じて予め指示されたテキストに範囲の予習を行い、復習によって内容の理解を深め用語を記憶させる	
7回	授業内容	数字にまつわる表現を整理する	小テスト（4）数字にまつわる表現について再確認する
	学習成果	長い数値の読み方、小数点読み方、分数の読み方、加減乗除の読み方、四捨五入の読み方、累乗の読み方、単利 vs 複利、プラス、マイナスの正しい表現について整理する	
	予習復習の内容	クラスルーム等を通じて予め指示されたテキストに範囲の予習を行い、復習によって内容の理解を深め用語を記憶させる	
8回	授業内容	企業活動における重要な表現と決算書類に関する知識を学ぶ	小テスト（5）授業の総合的内容を確認する
	学習成果	ステークホルダー、主要な業界、管理会計、財務諸表の各種呼び方、単体・連結、決算期のチェック、インターネットによる決算書類の入手方法について学ぶ	
	予習復習の内容	クラスルーム等を通じて予め指示されたテキストに範囲の予習を行い、復習によって内容の理解を深め用語を記憶させる	
9回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
10回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
11回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
12回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
13回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
14回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		
15回	授業内容		
	学習成果		
	予習復習の内容		